

長崎県における病児保育の現状 他県にも伝えたい働く医師支援の試み

長崎県医師会

○瀬戸牧子 上戸穂高

保育サポート

* 長崎県医師会保育サポートシステム H25から

長崎大学mWLBと共同



* 長崎保育サポートシステム H30から

長崎大学mWLB主導

mWLB 基幹研修病院勤務医師

長崎県医師会 長崎市内上記以外の病院・開業医勤務医師

近郊の病院・佐世保市・諫早市の病院

保育サポーター

現在の保育サポーター登録数： 112名

看護師・保育士の資格を持つ人も多い
病児・病後児もサポート可能

現在は依頼医師との信頼関係の中で
双方が合意すれば、病児(軽症)に対応



将来的には

病児保育施設への受診/お預かりにも
同行し代行できないか

模索中

○ 保育サポーター 有資格者

有資格者	人数
看護師	10名
保育士	28名
幼稚園教諭	16名
小学校教諭	3名
中学校教諭	5名

2018/4/30現在 保育サポーター有資格者45名
※複数資格保有者あり

1. 保育サポーターが対応できると承諾した場合に限る。
2. 保護者が医師なので病児を預けるリスク判断は、保護者の自己責任
3. 病状が悪化した場合の対処法を事前に決めておく。

- ◆病児保育対応可能:101名(82.7%)
- ◆小児科受診対応可能:52名(42.6%)

女医支援の試み

ワークライフバランス推進員の配置

- * 大学病院各診療科医局(1名以上)
- * 基幹研修病院 (複数名)

長崎大学mWLBセンターと有益な情報交換や協力関係を築く



円滑な職場復帰の道筋を示す手伝いを行う

若手医師のモチベーション維持や自分らしいキャリアデザインを考える
各病院の就労環境の平準化が図れる
いわゆる口コミ情報波及効果が望める

女性医師支援

長崎大学mWLBセンターが行っている事業に協力

- * マタニティ白衣・パンツの貸し出し 更新費用の負担
妊娠・出産する医師への励ましと
繋がっているという意識の醸成が一番
(全県下の病院で利用が増えてきている)
- * 学生キャリア講習会(終日)
医師会の役割・メリットを知ってもらう

巡り逢いのお手伝い

- * 出会いが少ない という声
- * 婚活パーティー の企画・実施
- * 女医コンの後援
 - 負担があっても医師の仕事をしたい女医であれば、
同じように考える男性医師との結婚は困難
 - 他職種であれば双方ともに両立できる可能性あり

男性医師の働き方が変わらないことには医師同士の結婚は困難では！

医師の働き方を考えよう